

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境モニタリング調査		担当部局庁	環境省水・大気環境局 環境保健部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	大気環境課、水環境課、海洋環境室、地下水・地盤環境室 環境安全課、石綿健康被害対策室		大気環境課長山本光昭、水環境課長吉田延雄、海洋環境室長森高志、地下水・地盤環境室長宇仁管伸介、環境安全課長早水輝好、石綿健康被害対策室長桑島昭立		
会計区分	一般会計		施策名	3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む) 3-3 水環境の保全(海洋環境の保全を含む) 3-4 土壌環境の保全 7-3 石綿健康被害救済対策 9-3 環境問題に関する調査・研究、技術開発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災地における環境モニタリング調査の実施により、被災地周辺の環境に関する基礎的な情報等を的確に把握し、情報を国民に提供することで、国民の不安解消と復旧・復興に資する。 また、一般環境中の放射線モニタリングの実施により、今後、大規模な原子力災害等が発生した場合においても、放射性物質による環境への汚染影響を速やかに把握できる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により、被災地においては、建築物解体や瓦礫処理などによりアスベストの飛散、被災した工場などからの有害物質等の漏出、震災起因漂流物の流出及び福島第一原子力発電所からの放射性物質の漏出等により環境汚染の拡大が懸念されており、被災地周辺の基礎的な情報等を的確に把握、提供する必要から環境モニタリング調査を実施する。 また、一般環境中の放射線濃度を把握するため、大気、公共用水域、地下水質についてモニタリング調査を実施し、原子力災害時における国民の健康保護のための速やかな対応に資する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算						4,826
		補正予算						
		繰越し等						
	計							4,826
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	本事業は被災地等における環境モニタリング調査を実施するものであり、その効果を定量的に示す指標は存在しないため記載できない。		成果実績					
			達成度	%				
			成果実績					
			達成度					
			成果実績					
		達成度						
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	モニタリング調査データの公表回数		活動実績 (当初見込み)					
			活動実績 (当初見込み)					
			活動実績 (当初見込み)					
			活動実績 (当初見込み)					
単位当たりコスト			算出根拠					
単位当たりコスト			算出根拠					
単位当たりコスト			算出根拠					
単位当たりコスト			算出根拠					
平成23年度	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		9					
	職員旅費		19					
	委員等旅費		12					
	庁費		10					
環境保全調査費		4,646						

予算内訳	公害調査費		100
	環境保全調査等地方公共団体委託費		30
	計	0	4,826

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 の 状 況 ・ 予 算		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金 の 流 れ ・ 費 目 ・ 使 途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績 ・ 成 果 実 績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果			
予算監視・効率化チームの所見			
		モニタリングの地点、対象の選定については重複等の無いよう効率的で無駄の無い執行に勤めつつ、放射性物質・化学物質等による環境への影響を把握すること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
なし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載）	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計			0	計		0
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計			0	計		0	
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計			0	計		0	
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計			0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					